

## 開催し続ける理由

コミュニティの中で学びあう私たちにとって、この世情は大変困難な状況にあります。そして、今の状況の中でセミナーを開催し続けることは、ご批判を受けることかもしれません。しかし、この状況の中でもリソースシリーズを開催し続けることを私たちは選択しました。

社会が不安と恐れの中にいると人は、この事態が早く収束しないかと受け身になったり、何でこうなったんだと不平・不満をいだいたり、意見の対立や暴動が起きたり、昔はよかったと今を悲観したり、被害者になりがちです。

ウィルスも怖いけれど、私はこのような被害者を生み出し増えることはさらに怖いことだと思うのです。

だから、人の成長を止めてはならない。今こそ、人が成長する価値が求められていると考えています。

混沌とした状態は、それを抜けたときには新しい未来が生まれてきます。

それは、混沌を受け入れ対応しスタンドをとった人が創り出すことができる領域なのでしょう。

今こそ“自分が源” 責任意識で生きる人を生み出すときであり、今こそ、“自分が源” 当事者意識を知っている人がスタンドをとるときではないかと思うのです。

医師が、命を懸けて医療現場で使命を生きているように、教育関係者は、命を懸けて人を育てる使命があります。

オーバーシュートしないように人の移動をさせず、セミナー開催はしばらく中止して、再開を待てばいいのではないかと考えている人もいるでしょうし、もしセンターで何かあったら、二度とセミナーを開催できないのではないかと心配する人もいるでしょう。

私は、この事態だからしばらく中止することは、イコール解散と同じ意味と考えています。

しばらくといても、収束は1年先かもしれません。先は分かりません。

そしてそれは、この状況に対応できなかったということの意味することであり、セミナーで教えていることは、この事態には無効なんだということでもあります。それは、私たちの死を意味します。

政府は、この事態に自粛を訴えることや対応策を考えることをしてくれまます。しかし、「この事態の意味すること」や「本質を問う」ことは示してくれません。

自分で見つけるしかないのです。自分の人生や生き方は、自分が責任をとるしかないのです。

また、いずれ新型コロナウイルスは終息しますが、今後このウィルスとも付き合っていく時代になるのではないか。さらに、10年後はまた違うウィルスが出てくるかもしれません。

予測できない社会の中でも被害者にならず“自分が源”で対応する人を一人でも多く育てる必要があると思うのです。変化をチャンスにして、次の未来を創り出す人を一人でも多く輩出する必要があると思うのです。人と人がつながり信頼し、人を大切にして生きる人が増える必要があると思うのです。

人が成長することで変化した家族や組織や個人を見てきた私たちは、「人の成長を止めてはならない」とコミットメントしました。

そして開催する以上、受け入れ態勢を万全にします。

ゲストにも受講生にも現行リーダーにも卒業生にも、万全な状態で参加できるようご協力をいただきます。

この状況の中でも、営業し続けるお店や出勤している会社はあるし、通っている小学校・中学校・高校はあります。昨日は、松本では小学校の入学式もありました。

何のための企業活動なのか、何のための授業なのか、その目的を示し社員にもお客様にも、そして生徒・父兄にも協力を求め、万全な状態を皆で創り上げているのではないかと思うのです。

集団（クラスター）の一つではあるけど、心が一つになった集団は少し違うのかもかもしれません。

私たちは、そのような組織や人たちに力づけられていますし、私たちも一燈でありたいと思っています。

あなたは、この事態をこの時代を、どのように向き合いどのように生きると決めていますか？